

史料館特別展「地震・津波展」について

1 趣旨

東海地震の発生が懸念される当地域において、過去の資料から郷土を襲った津波や地震の状況を学ぶことは、郷土の歴史を知るとともに、防災意識を啓発し今後の防災対策に役立つものです。

今回、史料館の特別展として、津波や地震に関する古文書や村絵図、市海岸部のジオラマなどを展示するほか、防災に対する市の取り組みを紹介します。

2 概要

- (1) 開催期間 11月17日(土)～12月2日(日)
- (2) 会場 牧之原市史料館 2階ホール
- (3) 時間 午前8時30分から午後5時まで
- (4) 入場料 無料(期間中は史料館1階常設展も無料)

3 展示内容

(1) ジオラマ

牧之原市の海岸線をジオラマ化し、過去の地震の被害箇所や海拔、予想浸水域を表示する。

(2) 宝永、安政東海地震の古文書

牧之原市に残る宝永、安政東海地震の古文書を展示し、過去の震度や津波の高さ、被害を紹介する。

(3) 江戸時代の村絵図

ジオラマの近くに配置し、江戸時代の牧之原市の様子を紹介する。

(4) 東日本大震災の被災写真・映像

陸前高田市及び気仙沼市の被災写真パネルの展示や映像を上映する。

(5) 東南海地震の体験談(榛原高校郷土史研究同好会)

昭和19年に発生した東南海地震について、被災者から聞き取りした内容を展示する。

(6) 市の防災対策事業の紹介

防災展(防災課)、防災まちづくり計画の取り組み紹介(地域政策課)

(7) 読み聞かせ

地震や津波など災害に関する民話を紙芝居にして、読み聞かせを行う。

(8) 起震車体験

市内小中学生を対象に、起震車による地震体験を行う。(11月27、28日)